

令和5年度 第1回 医療安全監査委員会議事要旨

日 時 令和5年9月21日(木) 13:00~15:25

場 所 多目的ホール

出席者 小島 崇宏委員長、桑原 允嗣、大磯 義一郎の各委員

陪席者 松山病院長、竹内医療安全管理責任者(副病院長・医療安全管理室長)、川上医薬品安全管理責任者(薬剤部長)、鈴木(明)GRM、山村 GRM、八木 GRM、石田 GRM、鈴木(祥)GRM、江間主任臨床工学技士、神谷診療放射線技師長、西村次長、山口医事課長、清水課長補佐、山本医療安全推進係長、大嶽主任

《議事》

報告事項

1. 医療安全管理室の患者安全に係る取り組みについて

医療安全管理室 GRM から、昨年度および今年度前半の医療安全管理室における患者安全に係る取り組みについて、配付資料に基づき説明があり、活動状況等を確認した。委員からは、カテーテルアブレーションを全身麻酔で実施する方針へ変更した前後の心タンポナーデ発生数を継続的に調査してはどうかとの提案があった。また、「転倒転落後の骨折疑い患者の初期対応フローチャート」に関して、症状の記載漏れ対策としてカルテ記載の必須項目等を新たにテンプレート化したことについて、病院として医療安全対策を継続して実施し、年々改善していると評価された。

2. 医療安全管理委員会の活動状況について（令和5年1月～令和5年7月）

医療安全管理室 GRM から、令和5年1月～令和5年7月の医療安全管理委員会の活動状況について、配付資料に基づき説明があり、活動状況等を確認した。

3. 高難度新規医療技術、未承認新規医薬品、未承認新規医療機器を用いた医療提供について（令和5年1月～令和5年7月）

医療安全管理室 GRM から、令和5年1月～令和5年7月の高難度新規医療技術、未承認新規医薬品、未承認新規医療機器を用いた医療提供について、配付資料に基づき説明があり、適切に申請、報告されていることを確認した。また承認された医療技術について、担当部門が適切にモニタリングを実施していることを確認した。委員からは、適用外使用の審査状況について質問があり、当院では

適用外使用と未承認新規医薬品の審査は、それぞれ審査部門が別組織であることを説明した。

4. 入院患者の死亡事例の報告について(令和5年1月～令和5年7月)
医療安全管理室 GRM から、令和5年1月～令和5年7月の入院患者の死亡事例の報告について、配付資料に基づき説明があり、医療安全管理部門に適切に報告されていることを確認した。
5. 死産事例の報告について(令和5年1月～令和5年7月)
医療安全管理室 GRM から、令和5年1月～令和5年7月の死産事例の報告について、配付資料に基づき説明があり、医療安全管理部門に適切に報告されていることを確認した。
6. インシデント影響レベル3b以上事例の報告について(令和5年1月～令和5年7月)
医療安全管理室 GRM から、令和5年1月～令和5年7月のインシデント影響レベル3b以上事例の報告について、配付資料に基づき説明があり、医療安全管理部門に適切に報告されていることを確認した。
7. 医療安全に関する研修の受講状況について
医療安全管理室 GRM から、令和4年度および令和5年度に実施した医療安全講習会について配付資料に基づき説明があり、医療法に則り適切に実施していることを確認した。委員より、受講者のアンケート結果から、同じテーマでも職種により考え方の違いがあることがわかるので、Team STEPPS 等の考え方を実践し、良好なチームワークを意識しながら取り組めると良いと助言があった。
8. 院内ラウンド(14:35～15:25)
先端医療センター(外来化学療法センター、内視鏡センター、NICU・GCU 病棟)を訪問し、各部署における患者の安全に関する取り組み状況について視察した。

《指摘、意見等》

なし